
九州運輸局メールマガジン 平成 28 年 6 月 2 日 第 333 号

～運輸と観光で九州の元気を創ります～

<http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/>

九州運輸局メールマガジンをご愛読くださりありがとうございます。

九州運輸局メールマガジンは隔週の木曜日にお届けしています。

次の発行日は平成 28 年 6 月 16 日（木）です。

◆ 目次

1 現場リポート

・博多港で練習船「大成丸」の見学会を開催～船員不足、船舶の高齢化解消に向けて～

・九州国際大学付属中学校が 2 年連続日本海事広報協会会長賞を受賞～2015 年度ジュニア・ SHIPPING・ジャーナリスト賞～長崎工業高校も優秀賞受賞～

2 お知らせ

・不正改造は犯罪です！～6 月は「不正改造車を排除する運動」強化月間～

・平成 28 年度「国土と交通に関する図画コンクール」作品募集中～鉄道や駅、自動車、船や港、観光地の様子などの図画を待っています～

3 平成 28 年熊本地震情報

4 九州運輸局ホームページアップ情報

・報道発表

・お知らせ

・更新情報

1 現場リポート

◆博多港で練習船「大成丸」の見学会を開催

～船員不足、船舶の高齢化解消に向けて～

独立行政法人海技教育機構の練習船「大成丸」は 2014 年 4 月に就航した「4 代目」であり、低公害ディーゼルエンジンを搭載し、国内輸送で活躍する内航船員を要請するため、内航船の主要航路を航行しながら訓練を行っています。

※大成丸の概要は、独立行政法人海技教育機構のホームページからご覧ください。

<https://www.jmets.ac.jp/academic/ship/taiseimaru/index.html>

九州運輸局では、このたび訓練航海中に博多港に寄港した練習船「大成丸」を利用し、5 月 21 日に事業者見学会を開催しました。見学会は、船員不足や船舶の高齢化等の問題を抱えている内航事業者及び旅客船事業者の方々に、練習船を用いた船員教育の現場や最新の機器を搭載した同船の設備等を見てもらい、船員のリクルート活動や今後の船舶リプレイス等の参考にし、貰うことを目的としたもので、九州運輸局管内の内航海運事業者 4 社、旅客船事業者 4 社の計 8 社から事業主や工務担当者など 17 名の参加がありました。

後部上甲板での「大成丸」の概要説明に始まった見学会は、その後参加者を 2 班に分け、コンパス・自動操舵装置・レーダ・自動衝突予防援助装置・最新の電子海図情報表示装置を搭載した航海船橋、航海船橋階下の操船シミュレータと主機関シミュレータを備えた実習船橋、通信室、実習生が学ぶ第一教室及び第二教室、低燃費・

低公害のコンパクトなエンジンが搭載された機関室と進みました。

参加者は「大成丸」乗組員からの説明にその都度納得し、「大成丸」の練習船としてのスペックの高さを実感したようでした。

見学後の意見交換でも「ボイラが装備されていないが蒸気はどのようにして作るのか?」「機関室にディーゼル発電機が3台ある理由は?」「実習船橋で実際に実習生のみで操船中、危険な状況になった場合の対応は?」「女性実習生の割合は?」「内航貨物と旅客船への就職の割合は?」など、同船の設備や実習生の進路状況の質問が多く出され、参加者の熱心さが伝わり、その中でも特に、近年の内航貨物船の急速な高齢化問題を抱える内航事業者の方々の関心が高いように見受けられました。

見学者のひとり九州旅客船協会連合会の竹永会長からも「このような見学会は業界にとっても良いこと、今後も機会があったら実施して欲しい。」との感想が寄せられるなど、大変好評な見学会となりました。

今後も九州運輸局では、船員不足や船舶の高齢化問題等の解消に向け各種活動に取り組んでいきます。

練習船「大成丸」の事業者見学会の様子は、次の URL からどうぞ。

http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/pdf/photo/photo_333_1.pdf
(海事振興部 貨物課)

◆九州国際大学附属中学校新聞部が2年連続で日本海事広報協会会長賞を受賞
～2015年度ジュニア・ SHIPPING・ジャーナリスト賞～
～長崎工業高校も優秀賞受賞～

公益財団法人日本海事広報協会主催の「2015年度ジュニア・ SHIPPING・ジャーナリスト賞」の発表会及び授賞式が3月29日に東京海洋大学にて行われ、593点の応募作品の中から北九州市の九州国際大学附属中学校新聞部が日本海事広報協会会長賞を2年連続で受賞しました。

ジュニア・ SHIPPING・ジャーナリスト賞は、海事産業に対する児童生徒の意識向上を図るため、全国の小中高校生を対象に海事産業に係る取材・調査をして新聞形式にまとめた作品を募集・授賞するもので、国土交通省も後援しています。

九州国際大学附属中学校新聞部は2014年度の受賞作品「夕日に染まる洞海湾」に続き、2015年度も5人の部員による「碧い海に囲まれて」を応募し、見事2年連続の会長賞受賞という快挙を成し遂げました。

同作品は、「いざ!海フェスタ!」と題し、昨年7月に熊本で開催された「海フェスタくまもと」や、海の祭典から海フェスタに至った経緯「海フェスタとは?」の記事を1面に、2面には船酔いと海難事故をテーマに船旅を推奨する記事を掲載するなど、中学生とは思えない素晴らしい新聞となっています。2016年度は3年連続の会長賞とは言わず、ぜひとも国土交通大臣賞を狙ってもらいたいものです。

また、長崎市の長崎県立長崎工業高等学校の作品「長崎工業高校による船のための新聞」も高校生部門の優秀賞を受賞しました。世界遺産の軍艦島やソロバンドック、豪華クルーズ客船の寄港増加、長崎の溶接と船の歴史、ペーロン、柳川ソーラーボート大会への出場などの記事が紙面を埋めたこちらの作品も、読み応えのある作品となっています。

両校の「碧い海に囲まれて」「長崎工業高校による船のための新聞」は日本海事広報協会のホームページに掲載されています。次の URL からぜひご覧ください。

<http://www.kaijipr.or.jp/jsj/jsj2015.html>

(海事振興部 旅客課)

2 お知らせ

◆不正改造は犯罪です！

～6月は「不正改造車を排除する運動」強化月間～

自動車は、生活に欠かせない移動手段となっているのみならず、娯楽の道具としても認識されており、様々な部品等が販売されています。

しかしながら、①灯火の色が不適切な灯火器及び回転灯等の取り付け、②運転者席・助手席の窓ガラスへの着色フィルムの貼り付け、③基準外ウイング（エア・スポイラ）の取り付け、④基準不適合マフラーの装着又は消音器の取り外し、⑤タイヤ及びホイールの車体（フェンダー）外へのはみ出し等の不正改造を施された車両が存在し、国民生活の安全・安心を脅かしていることが問題となっています。

これら不正改造については、改造を実施すること、改造された自動車を走行させることの両方が法律により禁じられており、これに違反すると整備命令書の交付を受けたり、罰金等の対象となることとなります。

国土交通省では、これら不正改造を排除し、車両の安全確保及び環境保全を図るため、関係省庁、自動車関係団体等と協力して、「不正改造車を排除する運動」を全国的に展開しており、特に6月を強化月間として重点的な取組を行っています。皆様もぜひ、この機会に不正改造の防止についての理解を深めていただき、その排除にご協力下さい。

(問合せ先)

○迷惑改造車相談窓口（不正改造車 110 番）・迷惑黒煙相談窓口（黒煙 110 番）

・九州運輸局自動車技術安全部整備課 Tel.092-472-2537

○九州各県における相談窓口一覧（不正改造車 110 番、黒煙 110 番）

・福岡運輸支局整備部門 Tel.092-673-1196（音声ガイダンスにて3番）

・佐賀運輸支局整備部門 Tel.0952-30-7274（音声ガイダンスにて4番）

・長崎運輸支局整備部門 Tel.095-839-4749

・熊本運輸支局整備部門 Tel.096-369-3130（音声ガイダンスにて2番）

・大分運輸支局整備部門 Tel.097-558-2577（音声ガイダンスにて2番）

・宮崎運輸支局整備部門 Tel.0985-51-3958（音声ガイダンスにて3番）

・鹿児島運輸支局整備部門 Tel.099-261-9197

詳しい情報はこちらの URL からどうぞ。

www.tenken-seibi.com

(自動車技術安全部 整備課)

◆平成 28 年度「国土と交通に関する図画コンクール」作品募集中

～鉄道や駅、自動車、船や港、観光地の様子などの図画を待っています～

国土交通省では、人々の生き生きとした暮らしを支え、安全・安心で豊かな経済社会を実現するための国土交通省の様々な取組について、明日を担う子供たちに理解

を深めていただくきっかけとなることを期待し、毎年度、小学生を対象とした「国土と交通に関する図画コンクール」を実施しており、平成 28 年度も作品を募集しています。

詳しくは次の URL をご覧ください。

http://www.mlit.go.jp/page/h28zugacon_boshu.html

(総務部 広報対策官)

3 平成 28 年熊本地震情報

◆「被災者の皆様への暮らし関連情報」を国土交通省ホームページに掲載していません

国土交通省ではホームページに「平成 28 年熊本地震関連情報」コーナーを設け、「被災者の皆様への暮らし関連情報」には被災地にお住まいの方々に必要な情報を掲示しています。

どうぞ次の URL からご覧ください。

【国土交通省】

◇被災者の皆さまへの暮らし関連情報

http://www.mlit.go.jp/page/kanbo01_hy_004710.html

4 九州運輸局ホームページアップ情報

--- 報道発表

<http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/#HOUDOU>

--- お知らせ

<http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/#OSIRASE>

--- 更新情報

<http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/#KOUSIN>

//////// 編集部より //

「がんばろう熊本」「九州はひとつ」など、今回の熊本地震で被災された方々や地域に対する応援のスローガンをよく見かけます。

九州運輸局では平成 26 年 3 月にキャッチフレーズとロゴマークを決定し使用しています。キャッチフレーズ「運輸と観光で九州の元気を創ります」、今こそ力強く打ち出したい、そう思っています。

http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/pdf/photo/photo_333_2.pdf

いつも九州運輸局メールマガジンをご覧ください誠にありがとうございます。

編集部では、運輸と観光に関する取組や話題、イベントの案内、地域の情報等、本メールマガジンへの掲載記事を広く募集しています。お気軽にご投稿ください。

//

■本メールマガジンのバックナンバー閲覧はこちらから

http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/backnumber-top.htm

■本メールマガジンの配信中止やメールアドレスの変更などはこちらから

http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/kouhou_mail.html

■九州運輸局メールマガジン編集部（九州運輸局総務部内）

mail: qst-mm-kyushu@ml.mlit.go.jp

Tel : 092-472-2312 Fax : 092-471-7192
